

平成27年度 三島市の

平成27年度予算案が市議会2月定例会で可決され、一般会計予算は355億3,000万円で、前年度対比0.8%（2億7,000万円）減となりました。今年度の市の予算についてお知らせします。

美しく、健やかな、
魅力溢れる
三島を創生する
戦略型予算

一般会計予算額
355億3,000万円

特別会計を含む予算総額 639億1,233万9千円



平成27年度施政方針

市議会2月定例会で豊岡市長が述べた平成27年度予算案の基本方針などについて概要を掲載します。

私は、昨年12月に市民の皆さまの支援を賜り、2期目の市政を担わせていただくことになりました。その重責を果たすべく、三島市がさらなる発展を遂げる諸施策に、全身全霊を尽くして臨みます。

平成27年度は、これまで皆さまと積み上げてきた施策の更なる充実と発展を図ることはもとより、将来を見据えた新たな事業への取り組みも緊要であることから、一層のスピード感をもった市政運営を推進します。

「まちづくり」の基本方針

①最重要課題「少子高齢化と人口減少への対策」

「戦略的なシティプロモーション」や「内陸のフロンティアを拓く取組」を推進し、若い世代や企業に三島を選んでもらい、定住人口の増加と新たな雇用を創造する施策の展開と併せ、安心できる子育て環境の充実、^{けんこう}健幸で暮らせるまちづくりに全力で取り組みます。

②更なる発展「ガーデンシティみしまの推進」

地域花壇など郊外の緑化も進め、市民、企業、NPOとより一層連携を深めた取り組みにより、市内全域にわたる美しく品格のある街並みの創造を図ります。

③新たな展開「スマートウエルネスみしまの推進」

大手健康総合企業のノウハウを活用し、楽しみながら健康づくりを進める新たな取り組みなどで、市民もまちも産業もすべてが元気な健幸都市を目指します。

④「まち・ひと・しごと創生法に基づく総合戦略」の策定

人口減少の克服と地方創生を目的とする法律に基づき、三島の特徴を活かした独自の地方版総合戦略を策定します。今後国から示される具体的なメニューを基に、三島市自身が主体性を発揮した戦略づくりに総力を挙げて取り組みます。

予算

問合せ 財政課 (☎983-2622)

予算の基本方針「3つの柱」

- ①にぎわいある美しさ溢れるガーデンシティの推進と活力みなぎる産業の振興
- ②人もまちも産業も健幸を実感できるスマートウェルネスみしまの推進と未来に繋がる教育・文化の充実
- ③コミュニティの絆で支える福祉の充実と更に安全・安心な暮らしを守る災害に強いまちづくり

この3つを三島市予算の柱と定め、将来都市像「せせらぎと緑と元気あふれる協働のまち・三島」の実現とともに、さらに「元気・安心・希望あふれる三島」へ前進するために、心から愛着と誇りを持てる三島を創造する戦略的な施策を予算に盛り込みました。

地方財政を取り巻く環境は、先行きが見えにくい状況が今後も予測されますが、臆することなく「美しい美島、魅力ある魅島、味のある味島」をさらに発展させ、次世代に引き継ぐ施策とともに、市民が望む安全・安心で生活の質の向上に繋がる事業をきめ細かく予算に計上しています。

私はこの予算を「美しく、健やかな、魅力溢れる三島を創生する戦略型予算」と考えています。



「歳入」の状況

国交付金などについて、消費税の引き上げに伴い、地方消費税交付金の大幅な増加は見込まれるものの、地方交付税は地方財政計画に沿った減額が見込まれます。

また、歳入の根幹をなす市税では、制度変更などの影響で、法人市民税、固定資産税などが減収となり、厳しい歳入状況が見込まれます。

「歳出」の状況

少子高齢化による社会保障関連経費などの自然増をはじめ、臨時雇い賃金や委託費などで大幅な増加が見込まれるなど、各部局より提出された予算要求の段階では、大幅な歳出超過が発生しましたが、住民福祉の向上を最優先に、市民サービスの質を低下させることなく、市民ニーズに配慮した的確な予算配分を行いました。

「健全な財政運営」を継続

本市の財政状況は財政健全化判断比率において、国の基準を大きく下回り、健全性が示されています。

しかし、老朽化が進む公共施設の更新・改修や、増加する社会保障関連経費などに今後も多額の費用が見込まれることから、市民生活に欠かせない投資は行いつつも、身の丈に合った財政運営を基本に、行財政運営の効率化に努め、財政の健全性を確保します。